

# 2014年12月期 第2四半期 決算説明資料

株式会社エナリス



# 第2四半期決算概要

## ■ 前年度上期実績との比較

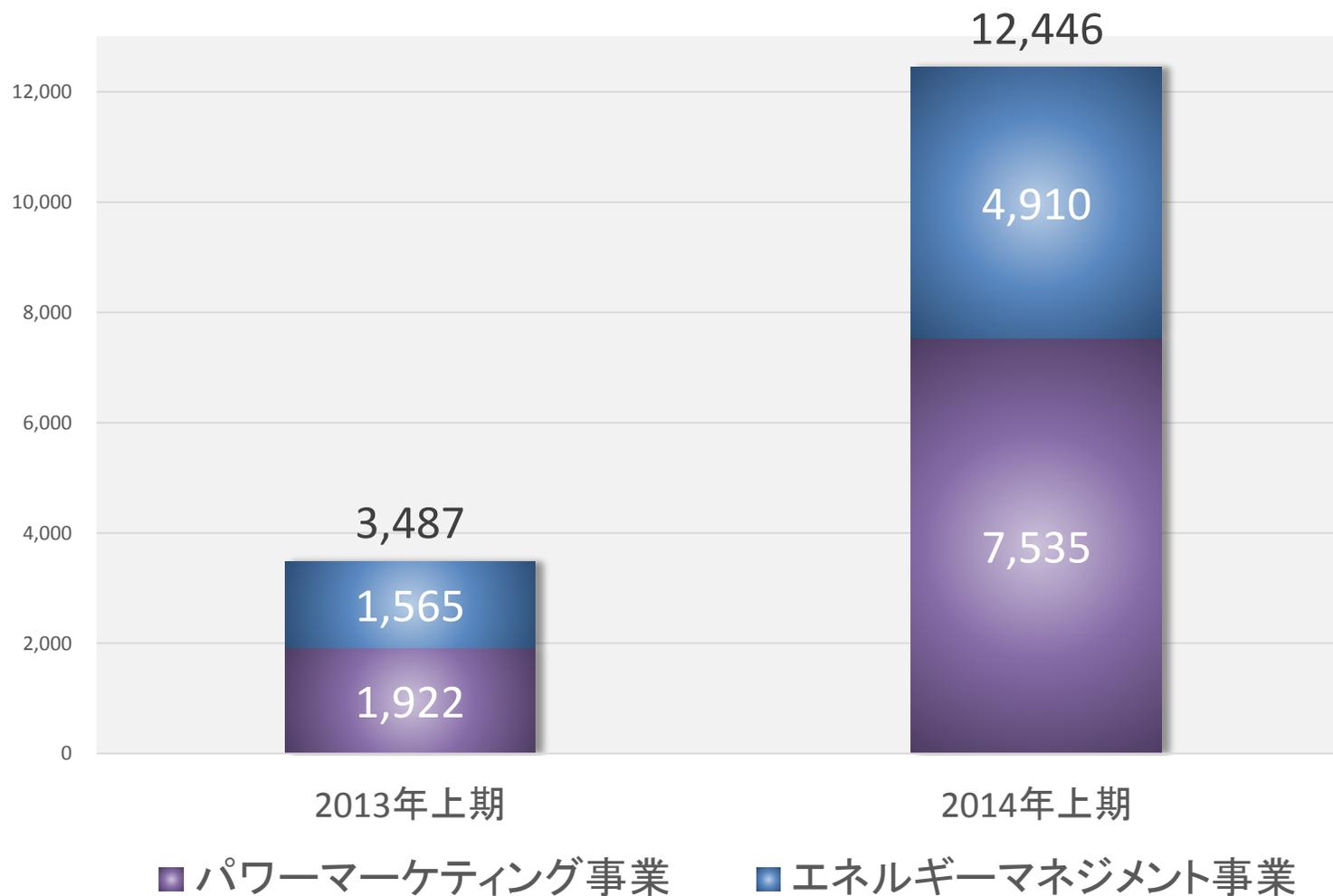
(単位:百万円)

	2013年度 上期	2014年度 上期	前年度比	
			増減額	増減率
売上高	<b>3,487</b>	<b>12,446</b>	<b>+8,958</b>	+256.8%
売上総利益	<b>1,391</b>	<b>1,654</b>	<b>+263</b>	+18.9%
(対売上比)	<b>39.9%</b>	<b>13.3%</b>		
営業利益	<b>475</b>	<b>478</b>	<b>+3</b>	+0.7%
(対売上比)	<b>13.6%</b>	<b>3.8%</b>		
経常利益	<b>448</b>	<b>421</b>	<b>▲ 26</b>	▲6.0%
(対売上比)	<b>12.9%</b>	<b>3.4%</b>		
当期純利益	<b>295</b>	<b>206</b>	<b>▲ 89</b>	▲30.2%
(対売上比)	<b>8.5%</b>	<b>1.7%</b>		

- 売上高は前年同期比で3.6倍増の124億円
- 電力代理購入サービスの営業に注力
  - スtock型ビジネスとして確立
- パワーマーケティング事業の拡大
  - 電源開発事業が好調に推移
  - 電力需要の増加に伴い、卸取引も堅調推移
- 公募増資により資本増強
  - 電源開発の運転資金、設備投資資金の確保および財務基盤の確立

# 上期 事業別売上高

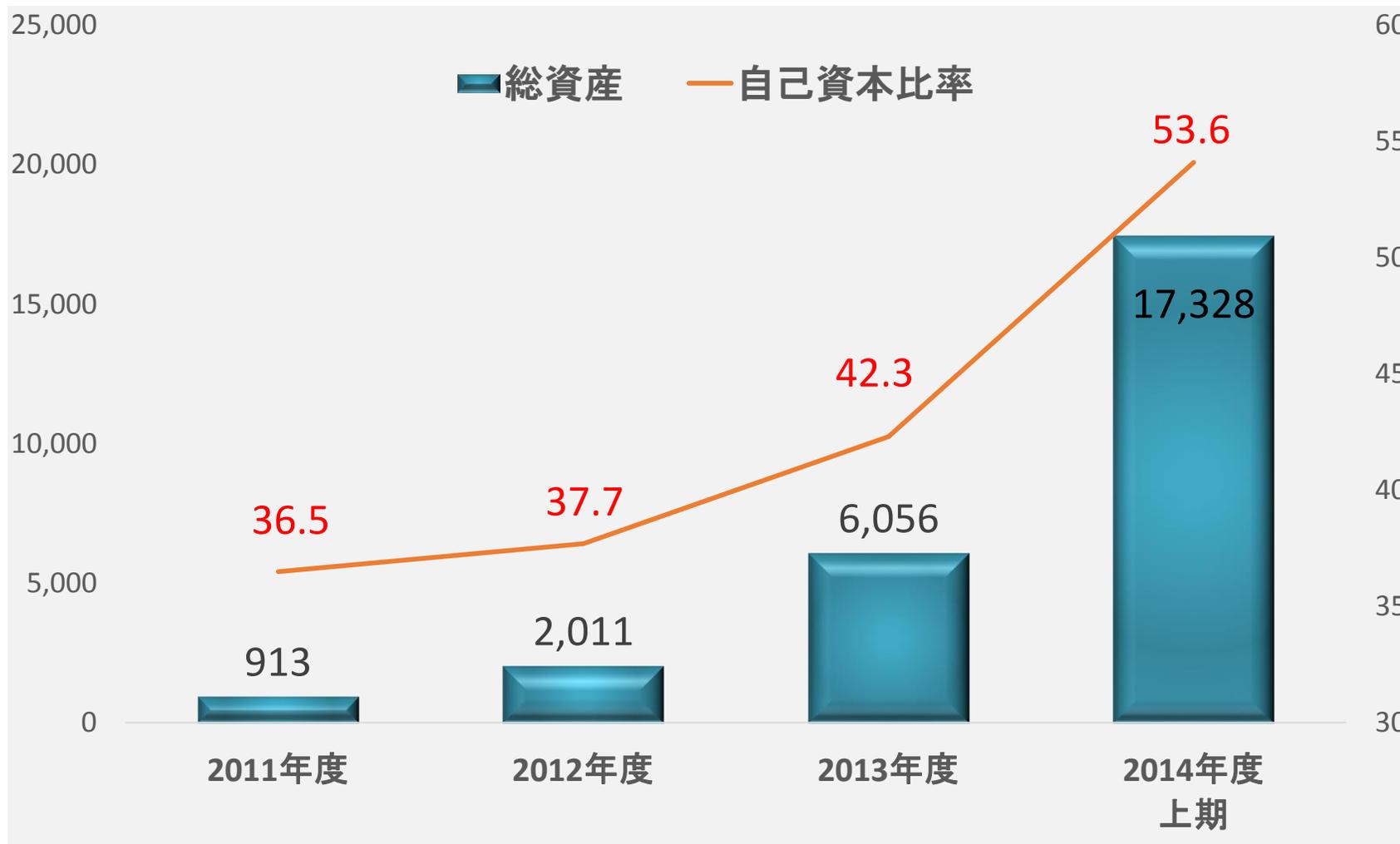
(単位:百万円)



# 総資産・自己資本比率の推移

(単位:百万円)

(単位:%)



将来の成長機会に機動的に対応するために財務基盤を強化、投資余力が拡大

# 2014年12月期 通期見通し

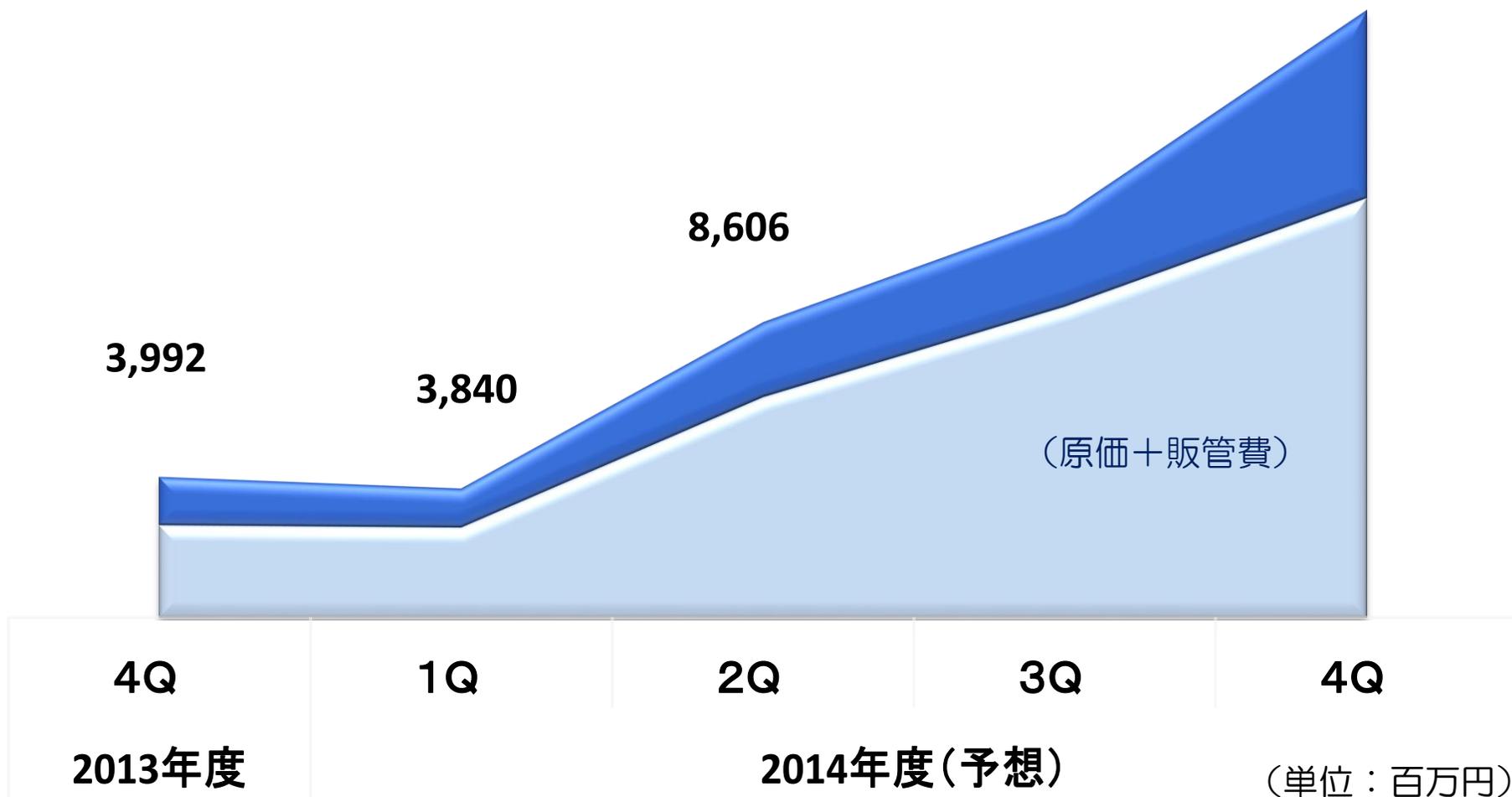
# 2014年度 上期実績と下期見通し

(単位:百万円)

	2014年度					
	1Q	2Q	上期実績	下期目標 (通期予想-上期実績)	通期予想	進捗率
売上高	<b>3,840</b>	<b>8,606</b>	<b>12,446</b>	<b>30,986</b>	<b>43,433</b>	+28.7%
営業利益	<b>118</b>	<b>359</b>	<b>478</b>	<b>1,725</b>	<b>2,203</b>	+21.7%
(対売上比)	<b>3.1%</b>	<b>4.2%</b>	<b>3.8%</b>	<b>5.6%</b>	<b>5.1%</b>	
経常利益	<b>135</b>	<b>285</b>	<b>421</b>	<b>1,782</b>	<b>2,203</b>	+19.1%
(対売上比)	<b>3.5%</b>	<b>3.3%</b>	<b>3.4%</b>	<b>5.8%</b>	<b>5.1%</b>	
当期純利益	<b>79</b>	<b>126</b>	<b>206</b>	<b>1,062</b>	<b>1,268</b>	+16.3%
(対売上比)	<b>2.1%</b>	<b>1.5%</b>	<b>1.7%</b>	<b>3.4%</b>	<b>2.9%</b>	

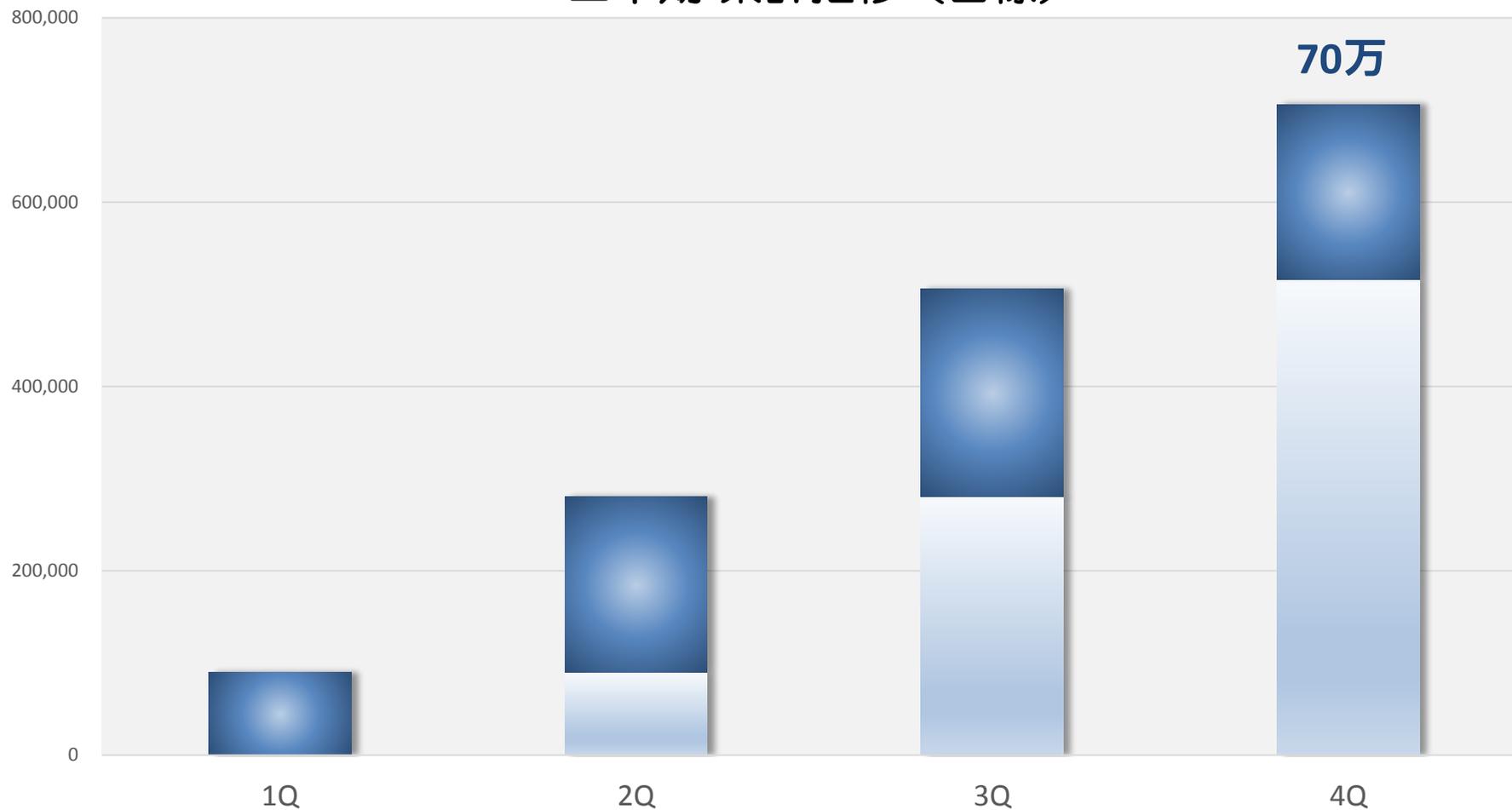
# 【2014年度】売上高四半期推移

- ◆ 「電力代理購入サービス(積み上げ型)」が大きく寄与するため業績推移は下期偏重
- ◆ さらなる成長のための戦略投資を積極的に実施



獲得電力 (KW)

四半期 累計推移 (目標)



■ 四半期 新規積上げ分

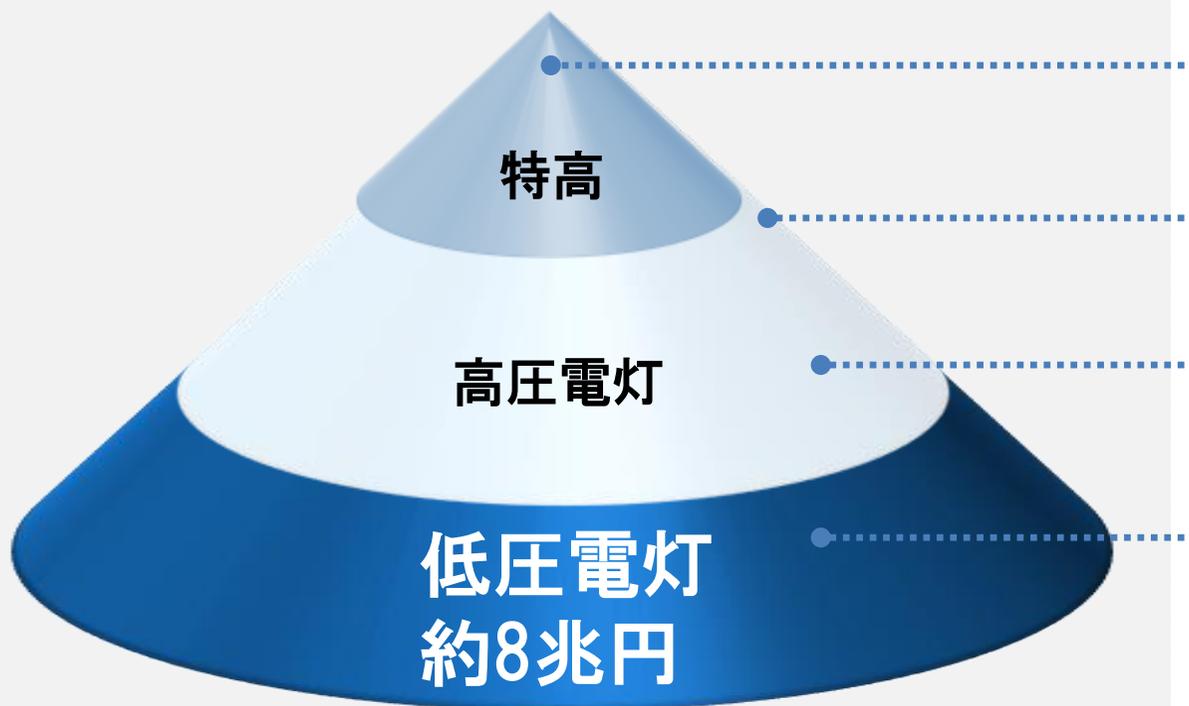
今年度末時点目標  
70万KW

# 電力完全自由化に向けて

## 2016年に電力小売市場 完全自由化 (6/11 改正電気事業法成立)

### 【電力市場規模】

### ＜自由化の時期＞



2000年：特高 (2000kW以上)

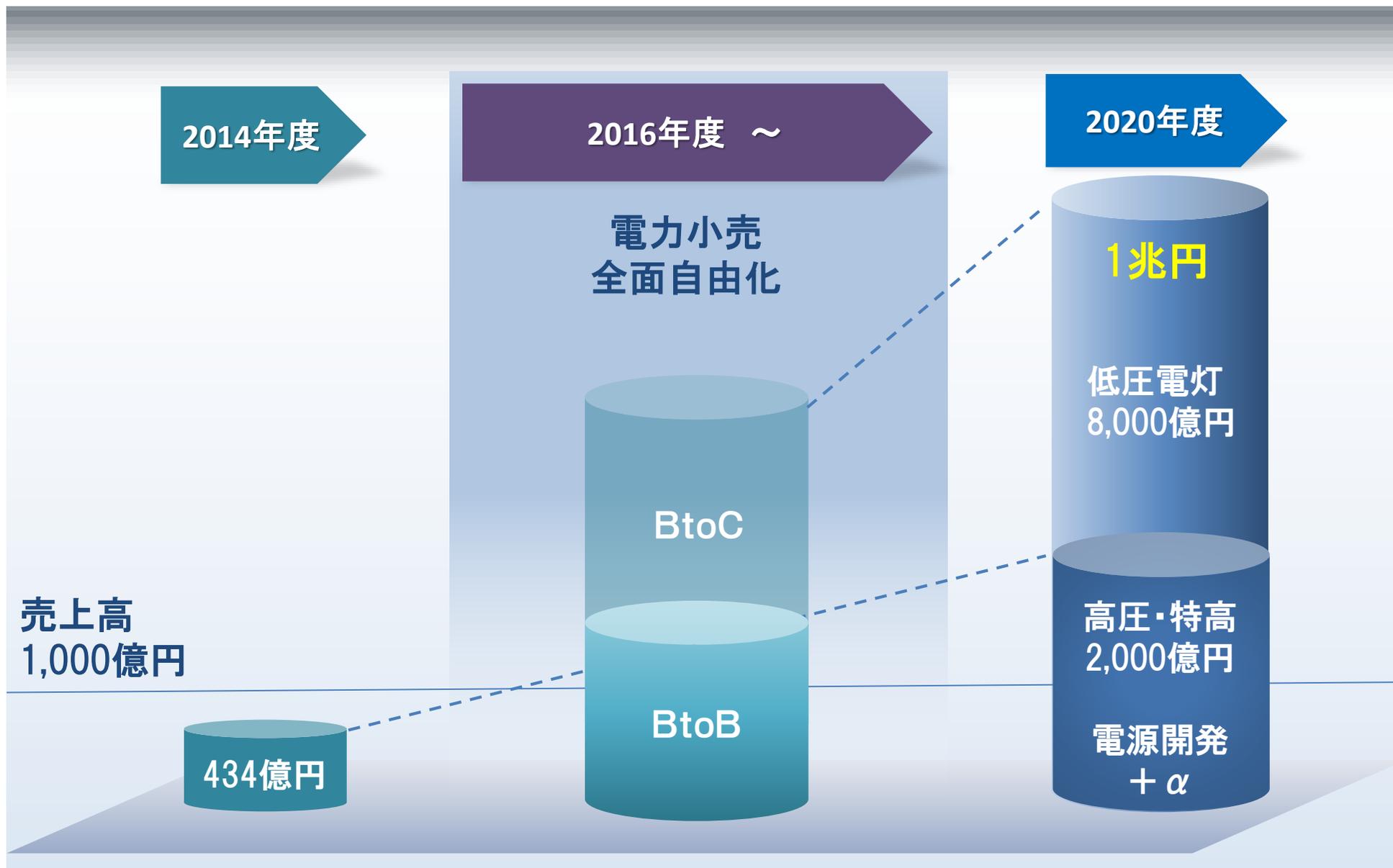
2004年：高圧 (500kW以上)

2005年：高圧 (50kW以上)

2016年：低圧 (50kW未満)

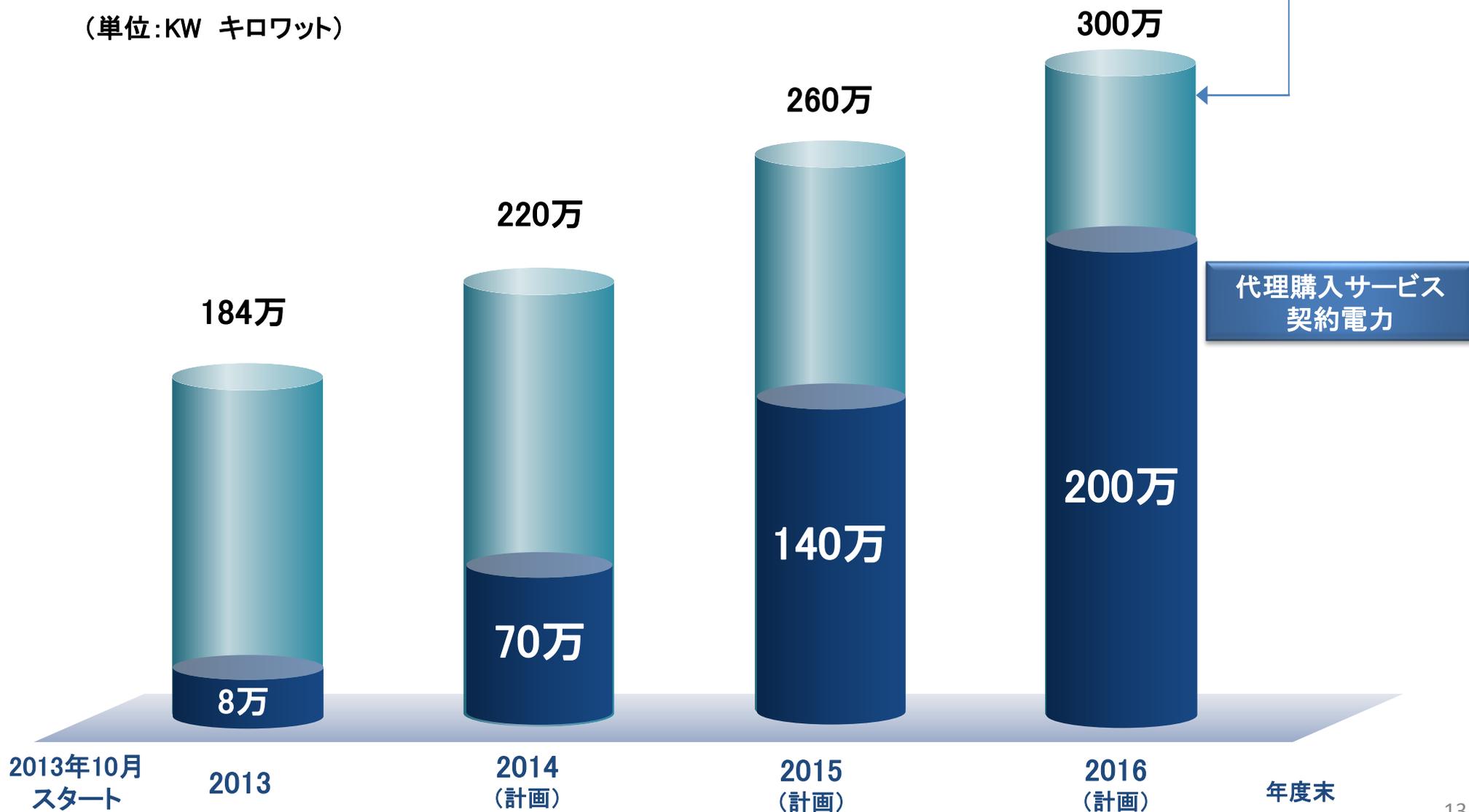
2016年の低圧向け電力自由化により新たなビジネス機会が出現

# 2020年 売上高1兆円到達イメージ



## 既存顧客に代理購入サービスの導入を推進

(単位:KW キロワット)



- バイオ燃料によるディーゼル発電を開始予定（8月中）
- インドネシアを始めとする東南アジア諸国からバイオ燃料を調達予定
- 燃料の精製から供給まで一貫して手掛けることでエネルギー流通のトレーサビリティ（追跡可能性）を明確化
- 主に価格変動リスクの少ないP A O※を使用

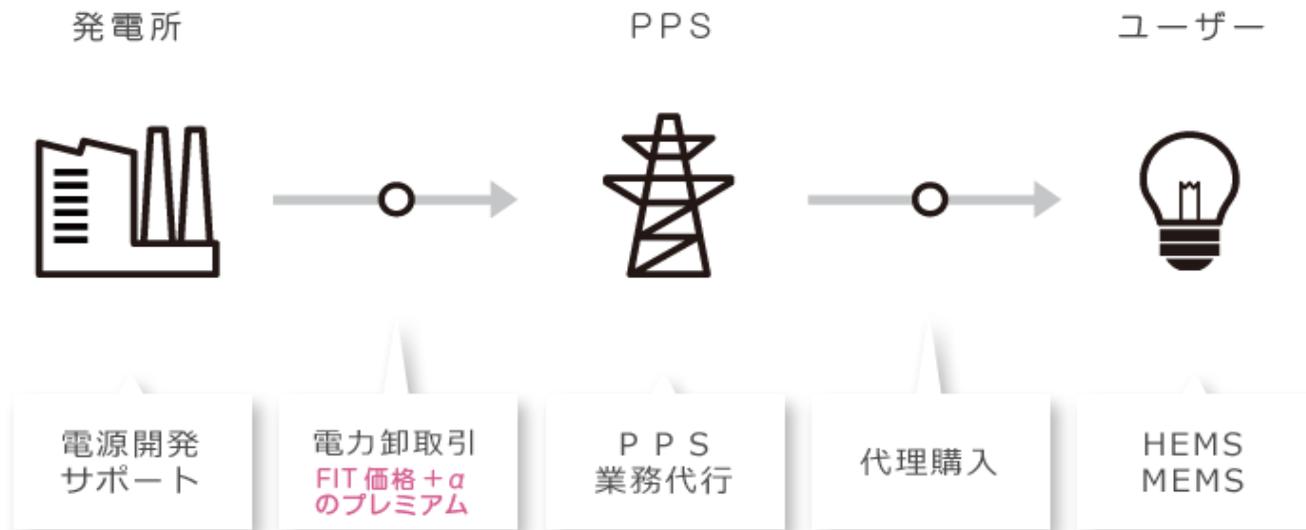
※Palm Acid Oil（パームアシッドオイル）は非食用。  
パーム油の搾りかす（廃棄）から出るもので市場価格に影響されない。

価格変動が少ない（食料と競合しない） + ボリューム



**売電**  
FIT 価格 +  $\alpha$   
のプレミアム

経済産業省が定める買い取り価格に  
1kWh あたり +  $\alpha$  のプレミアムを付加した  
単価で、最大 20 年間の買い取りを実施



不安定な太陽光発電も社内の気象予報士チームが  
的確に予測して売先としてPPSを活用した高額買取を実現

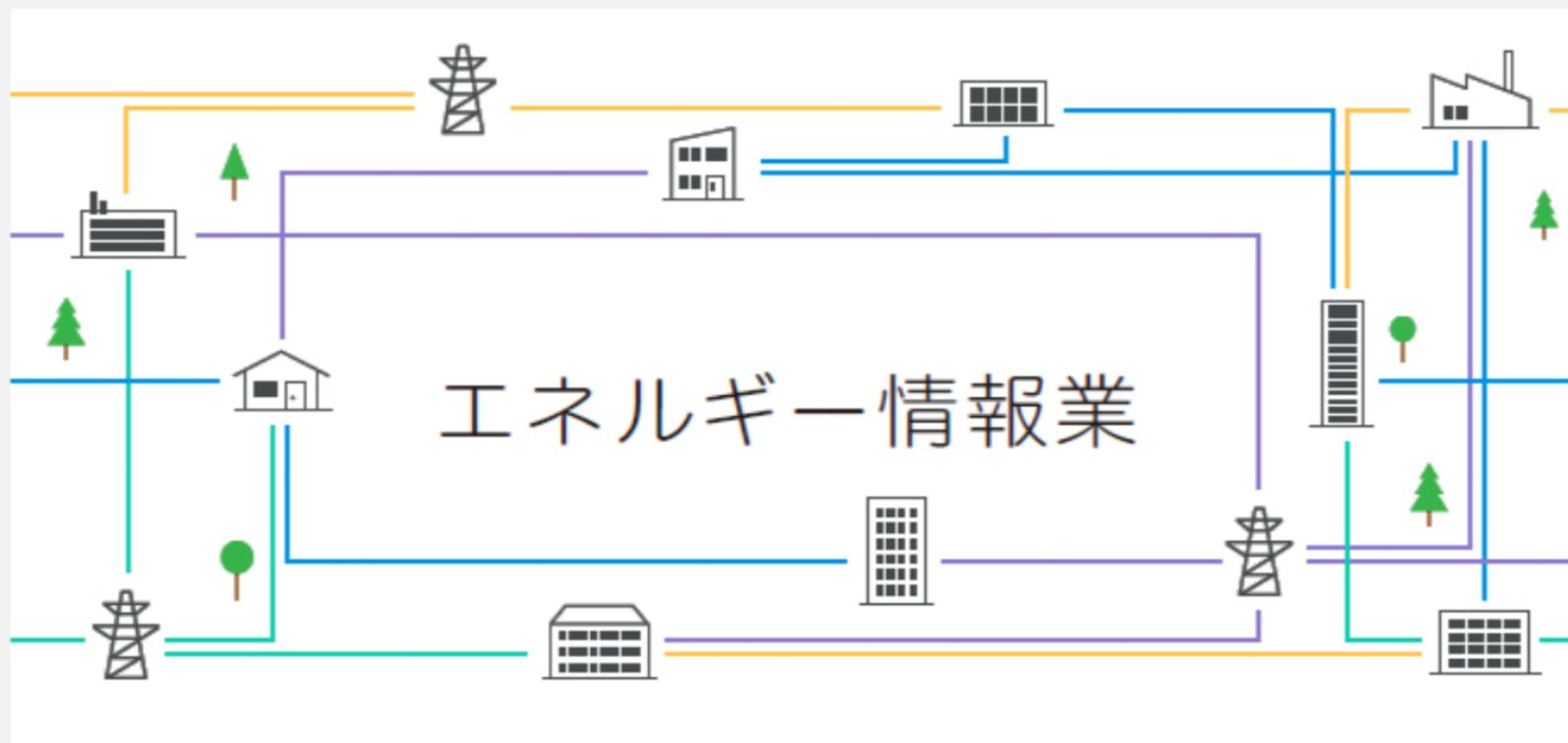
見える化

快適情報

遠隔制御



当社HEMS 次世代型スマートマンションに続々導入決定  
日本電力を新たに迎え入れ電力一括受電サービス事業展開を加速



## 電力の流通改革



本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点での当社判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。  
様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。